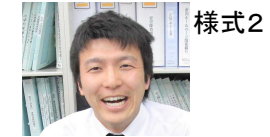


# 「南会津版 インフラの今と昔」



様式2

南会津建設事務所  
企画調査課  
技師 兼子 翔太

## インフラの変遷を紹介する取り組み

### 1. 背景

- ①道路建設の大変さやありがたさに対する意識が失われているのでは？
- ②若者の建設業離れによる業界全体での人手不足(離職者が多い)

### 課題

- ①社会資本整備の重要性についての理解促進
- ②若手土木技術者の確保

### 2. 目的

- ①県民の皆様にも社会資本整備の最大の理解者になってもらう
- ②若手土木技術者の士気向上による建設業界の発展

上記を目的に、「南会津版 インフラの今と昔」を始めた

### 3. 事例紹介

国道289号駒止峠(南会津町針生地内)

#### 駒止峠道路改良の歴史

- ・駒止峠は高倉宮以仁王の駒の歩みを止めたという伝説から名付けられたほど険しい峠
- ・県下随一の交通の難所で、冬期間の積雪は5mを超えたため、交通不能となることが多かった
- ・昭和35年、地域住民を中心に改良の気運が高まり、「県道田島山口線道路改良促進期成同盟会」が結成
- ・昭和44年、地域住民の熱意もあり、一般国道289号としての路線指定がされる
- ・昭和46年、駒止バイパスが国庫補助事業として採択
- ・昭和50年、県道路工事史上初の地元請負業者で組織される共同企業体により峠部のトンネル工事が着工
- ・昭和52年、工事は在来工法で順調に進められたが、掘削後の周辺地山がトンネル内空に押し出してくるアクシデントに見舞われ、建設省土木研究所等と検討を重ねた結果、道路トンネルとして我が国で初めてのNATM工法を採用
- ・昭和57年、地域の悲願であった駒止トンネルが貫通

これらの道路整備の歴史や先人達の功績を今昔記事で伝えている

南会津版 インフラの今と昔 H26.8.7掲載(H27.1.21更新)  
～一般国道289号駒止峠(南会津町針生地内)～

1. 位置図



2. 状況写真

①昔(旧道)(右上)  
高倉宮以仁王の駒の歩みを止めたといわれる峠  
県下随一の交通難所で、大型車はハンドルを切ることの出来ないドライバー泣かせの運転至難な道路として有名であった。  
また、冬期間の積雪は5mを超す豪雪地帯で、除雪作業もはかどらず夜間は交通不能となる場合が多い所であった。(「福島県土木史」抜粋)



②今(現道)(右下)線形が改善され、幅員が確保されました  
駒止バイパスは、昭和46年度より国庫補助事業として着工した。峠部の駒止トンネルは、福島県道路工事史上初の地元請負業者による南会共同企業体によってなされており、道路トンネルとして我が国初の試みであったNATM工法を採用し、昭和57年1月に貫通した。(「福島県土木史」抜粋)



3. 道路現況

(H25.4.1現在 国道現況調査による)

実延長	改良済延長		未改良延長		舗装済延長		未舗装延長	
	(m)	(%)	(m)	(%)	(m)	(%)	(m)	(%)
89,986	72,130	80.2	17,856	19.8	13,419	14.9	74,038	82.3
							15,948	17.7

#### 今昔記事の構成

- 1. 位置図
- 2. 状況写真(旧道と現道の写真)
- 3. 道路状況(当該路線の改良状況)

## 4. 取り組み状況

### ①作成数

これまでに13事例を作成

### ②記事作成にあたっての工夫

- (1) 付近の観光施設の紹介
- (2) 当時の道を知る方のコメントを記載

### ③広報の方法

- ・新聞社への情報提供
- ・事務所ホームページへの掲載
- ・合同庁舎掲示板への掲示、建設業団体等への情報提供

### ④活動結果

当時を知る関係者から苦労話や当時の写真など、貴重な情報が集まるようになった

### 記事作成にあたっての工夫 国道121号山王峠の記事抜粋

**(1) 付近の観光施設の紹介**




**(2) 今（現道）**  
昭和55年に山王トンネルや山王大橋などが供用されたことにより、日光へのアクセスが改善されました。沿線には、平成7年4月にオープンした道の駅「たじま」があり、年間30万人余が訪れる交流拠点となっています。

### 国道400号田島バイパスの記事抜粋

### (2) 当時の道を知る方のコメントを記載

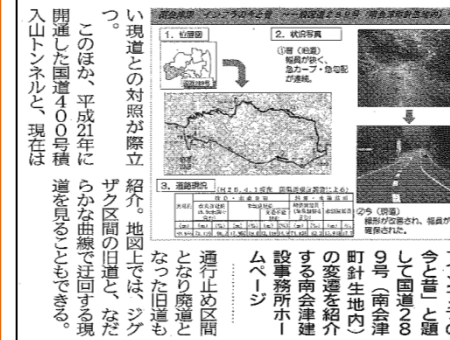
旧道は沢沿いを走っていて、急勾配で幅員が狭く、大型車とのすれ違いは出来なかった。おっかない道路だったよ。



当時の運転手

### インフラの今と昔紹介

南会津版インフラの真骨頂を使い、一目で「今と昔」のタイトルで、化が分かるように構成し、南会津建設事務所がインフラの変遷をホームページなどで紹介する企画が、このほどスタートした。掲載、同地区は旧道と急峻な地形で標高差のある地区、集落を結ぶ道路、島から向かって駒止トンネルの移り変わりを中心に編集。回を重ねると「昔」を紹介している。幅員が狭く頼りない旧道と、駒止トンネルとして、道と、駒止トンネルとして、昭和50年代に改良事業が進み、磐坂車線のある方強入山トンネルと、現在は、このほか、平成21年に開通した国道400号横



「インフラの今と昔」と題して国道289号へ南会津町針生地(旧)の変遷を紹介する南会津建設事務所ホームページ

## 5. 今後の改善

- ・当時改良工事に携わっていた方の苦労話や地域の方のコメントを記事に掲載
- ・例えば、トンネルの諸元や工事施工方法など、記事より詳細な情報を得られる工夫をする
- ・県土保全に関するインフラの今昔記事についても作成を検討
- ・各種講習会等で紹介するなど、さらなる周知を図る

上：建設工業新聞への掲載状況

(H26.8.18付)

下：合同庁舎掲示板への掲示状況



## 6. 終わりに

- ・地域間移動が困難であった時代に、地元の一致団結した要望活動や行政と地元建設業との努力が実って初めて、今の道路が出来ている
- ・このことを改めて知ってもらうことは、社会資本整備への理解や建設業への理解につながる
- ・私たちには、この地図に残る仕事(土木)を繰り返し行い、次の世代のために、魅力ある仕事に育て上げる責任がある